

奇襲的な小泉突風のなか

# 日本共産党

## 善戦・健闘

### 9議席守り

### 比例で492万票

# 25区でも 鈴木たくや候補大健闘!!

## 日本共産党と

「あきる野民報」を  
地域の新聞に一新!

あきる野民報の名称も含めてみなさんのご意見とご協力のもとに一步一步より良いものになることを願っています。これまでにお気付きの点があればご指摘頂いて改善のために最善をつくしたいと思っています。

みなさんからの斬新で親しみのもてる題名のご応募もいましばらく時間をかけ、まとめていきたいと思っています。

<FAX 558-0718 松平まで>

### あきる野民報

No.424 2005年9月25日/発行  
日本共産党あきる野市委員会  
発行責任者/松平重幸 Ⅸ&Ⅹ 558-0718

### ウソとごまかしに終始した小泉首相

「改革を止めるな」と絶叫した小泉自民党のキャンペーンは、政治の閉塞感を打破するかのような期待を国民に抱かせ、その結果、自民党は多くの議席を獲得。

しかし、国民いじめの小泉「改革」がさらに進行し、外交のゆきづまりが深刻になるにつれて国民との矛盾

### たしかな野党日本共産党の奮闘を

日本共産党は公示前の9議席を確保。比例の得票は492万票で、03年の前回

の票を33万3千票上回りました。地すべりの後退をした民主党にくらべ、「たしかな野党」として国民から期待され前進した日本共産党の存在は貴重です。

ご支援を頂いた有権者のみなさん、猛暑の中で奮闘された支持者、後援会員のみなさんに心から御礼を申し上げます。こんなに反応が良かったのは初めてで、特に子育て世代からの反応が良いのが特徴でした。今後は、公約実現に全力でがんばります。

鈴木たくや

日本共産党は、新しい国会で郵政民営化に真っ向から反対を貫き、庶民大増税、憲法改悪を許さず、国民のくらしと平和の守り手として、「野党としての公約」を実行するために全力をつくすことが求められています。

### 25区でも、比例・小選挙区ともに前進

また、25区の比例選挙では前回に比べ2013票増やし、得票率でも前進させました。

小選挙区では4572票増やし、得票率でも前回を上回りました。

鈴木たくや氏は選挙戦を振り返って「今回ほど手ごたえを感じたことはなかった」と語っています。



## がんばれ ヤング・パパ&ママ

親子のあそび場として、新日本婦人の会の『親子リズムピッピ』をやっています。「みんなのたのしい」を大切に、子どもとのくらしをたのしむきっかけのひとつになればと思います。

見学はいつでも大歓迎です。

■日時:毎週火曜日 11:00~13:00 (第2火曜はお休み)

■場所:東部図書館エル・2階和室

もちもの=お弁当、お茶用のコップ

対象=0歳から子どもとお母さん

会費=月900円

(新婦人会費含む)



お問い合わせ=たばた あずみ

☎ 550-6674

### 野良望



「あきる野民報」が装いを新たに、今号で4号目になります。紙面についてのみなさんのご感想はいかがでしたか。「温泉建設問題」はむらん試乗記「見学できない五日市憲法記念碑」等々、取り上げる記事も、市民のみなさんに関心があり、考えてほしいものをと腐心しています▼歴史探訪、がんばれ、ヤングパパ&ママ、絵手紙、文芸欄もみなさんのご協力によっています。「あきる野民報」という題字も一新するためアイデアを募集しています▼紙面を本当に生きいきとしたものにするのは、みなさんの意見、活動、みなさんの周囲の出来事、問題を紙面に反映できるかどうかだと思っています▼「あきる野民報」はみなさん自身の新聞です。ご意見や、日々の生活で気づいたことがあれば、まずは、ご一報を。

(渡)



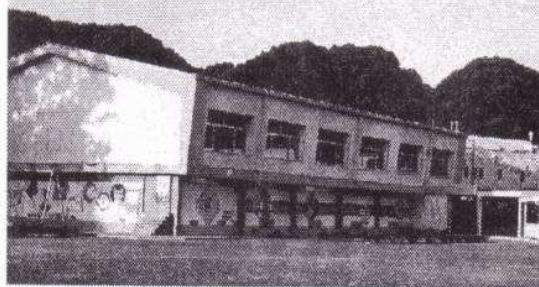
# 24億9千万円のムダな温泉建設よりも 市民の安全は？子供達の安全は？

## 地震対策を！

終わったのは

### 十八校中、六校だけ

### あきる野市の学校耐震工事



▲新潟・中越地震の崩壊現場  
◀増戸小学校体育館

#### 削られた学校整備費

あきる野市は、総事業費24億9千万円の温泉建設をすすめています。そのしわ寄せで「学校整備費」は、今年度、小学校で6割、中学校で4割も削減しました。

昨年から大きな地震が相次いでいます。だから地震対策はどの自治体にとっても最優先課題です。なのにあきる野市は逆行して、学校の耐震工事は18校のうち6校のみです。

避難所の体育館はなんと十八校中たった二校だけ終了

あきる野市も災害時の避難所は各学校の体育館がなっています。ところが耐震化されているのは御堂中の1校のみ。市民の安全対策

#### 市民がもっと、声を大きく……



議会でムダな温泉建設をやめ、早急に学校の耐震対策を追求しました。しかし市は実情に合わない耐震計画を述べ、温泉建設もこれだけ不安材料があるのに進めるとしか答えません。市民がもっと声をあげる時だと思えます。日本共産党あきる野市議会議員・影山保

はほったらかしで、ムダな温泉建設では市民はたまりません。

#### 温泉建設ではなく市民の安全対策こそ

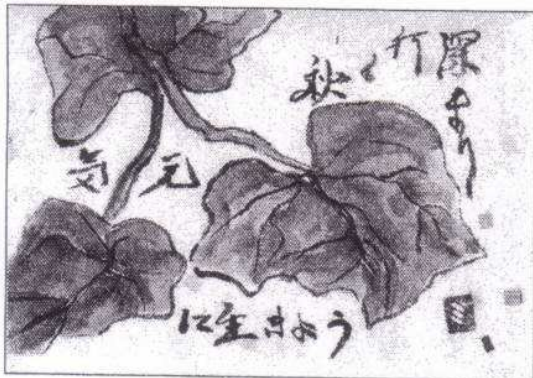
西多摩の学校耐震化率は、福生市、日の出町、瑞穂町が100%。羽村市で80%です。すんでいます。あきる野市はたったの33%です。早急に市がしなければならぬのは市民と子供達の安全対策であって、採算の見通しのないムダな温泉建設などではありません。

市民の声をいまこそ大きくしてムダな温泉建設を止めさせましょう。

#### 五日市の町起しヨルイチ開催

3年前から五日市の町起しにと始まった「ヨルイチ」(あきる野商工会など主催)が8月27日に開催され、約2万4千人が参加。榎原街道の1.8キロ(五日市駅前から小中野の黒茶屋まで)の各会場では様々なイベントが行なわれ、道にはボートネットバスや人力車が走り、立ち並ぶ商店や露店は家族づれでにぎわい、街道は活気に満ちていた。

合併以後、はや10年、さびれゆく五日市のイメージをなんとか変えたいと取り組まれた催しも3年を経て、近隣の人々も集うにぎやかな催しになってきた。



今回の絵手紙は、乙津の栗原美也さんから届きました。しかも3通も。次回、次々回とお楽しみください。

## 歴史探訪 第4回 塩野半十郎氏のこと(1)

私が旧・秋多町に居住したのは一九六八年です。西方の一面の畑の中に数軒の住宅が点在し、我家から晴天の日には富士山が見事に眺望できました。その富士山もいまでは住宅が密集し視界に入ることはありません。当時、草花台という我家の西方の畑の中を、小柄な野良着姿の老人が行き来する姿を度々目にしました。その人が塩野半十郎氏でした。早速氏の著作「多摩を掘る」を書店で買い、裏表紙にサインを記入して頂いた記憶をなつかしく思い出します。

七十歳を過ぎていた塩野半十郎氏に、ある日花の岡のバス停で出会ったことがあります。「どちらへ行かれます」と聞くと「これから大学へ講義に行くのですが、近ごろの若い者は発想の転換がなくて困ります。土器を学ぶにしても、もっと視野を広げ住宅や生活様式まで考えに入れなければ」と、こんな会話をしたことがありました。

高等小学校を卒業し、家業の農家を継いでいた一九〇五年頃、草花台地を耕して見つけた土器の破片に興味を持って、以来、土器・遺跡に終生かかわることになるのですが、草花前遺跡草花式土器(学式名、諸磯C式土器)発掘は二十数年後になります。昭和十年十二月七日の読売新聞に「先住民の遺跡を発見、西郡多西村「八幡ヶ谷戸」と報道されています。

(次号へ続く)  
草花・木寄秀治

### 俳句

俳句、川柳、短歌など、みなさんからの投稿をお待ちしています。



ひやひやと蔵王の風や九月尽  
初野菊摘みたる少女子犬跳ね  
夕月や丁寧に客送り出す

(香)

